

第6学年 外国語科 学習指導案

令和7年1月31日（金）

安来市立広瀬小学校

授業者 福田 美華子

ALT ヘンリー・ザムチャン・モンディ

1 単元名 My Best Memory ～小学校生活の一番の思い出を紹介しよう～ (NEW HORIZON Elementary 6)

2 単元の目標

5年生に小学校生活の一番の思い出について知ってもらうために、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。

3 関連する学習指導要領における領域別目標

話すこと [発表]	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
--------------	---

4 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと (発表)	・【My best memory is We went to It was およびその関連語句】など小学校の一番の思い出を表す表現について理解している。 ・小学校生活の一番の思い出について、【同上】などを用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。	・5年生に小学校生活の一番の思い出について知ってもらうために、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。	・5年生に小学校生活の一番の思い出について知ってもらうために、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとしている。

5 学習の基盤

(1) 教材について

本単元は、「小学校生活の思い出」をテーマとして扱う。Starting Out では、登場人物たちがオンラインで小学校の思い出について発表し合う場面が展開される。登場人物たちが述べる「小学校生活の思い出」に触れることから、児童自らの小学校生活を振り返ることにつなげていく。

この単元では、Unit 3 で学習した動詞の過去形が再登場する。My best memory isで【思い出】を伝え、【したことや感想】を、What did you do? / We went to / We ate [saw].... / It was 【その他】として、How was ...? で感想などを質問したり、具体的に何を食べたか、他に見たものはあるかななどを What did you eat?や Anything else?などを使って質問したりする。

小学校生活を振り返ることは、自らの成長に気づくことにもつながる。活動を通して、友達と思い出を語り合うことができ、卒業を控えた6年の終盤に扱うのに適した教材である。

(2) 児童について

個人情報保護のため省略

(3) 指導について

児童がお互いに相手の思い出に興味をもって聞き、また楽しみながら発話できるように、児童が自宅で撮影した思い出に関する物の画像を集め、「学級の思い出写真集」を作る。

導入では、単元の最後に、5年生に聞いてもらうための発表会を行うことを伝え、相手意識をもち、明確なゴールのイメージをもてるようにする。またALTのデモンストレーションを聞き、ALTから直接 **What's your best memory?**と問いかけてもらうことで、本活動への学習意欲を高めたい。児童が授業以外でも自分の好きな時間にALTのデモンストレーションを視聴できるように掲示板アプリ（パドレット）で動画撮影をし、児童の必要に応じていつでも繰り返し視聴が可能な状態にしておく。友達とたずね合ったり、登場人物の思い出を読んだりする活動に取り組むとともに、児童自身が動画撮影をして、自分がどの文を、どのように話しているかを客観的に確認させること等を通して、少しずつ表現に慣れるようにする。

本時では前時までに行った活動をもとに、グループになり画像を見せながら紹介し合う。まとめた内容を相手に分かりやすく伝えるために、「アイコンタクト・クリアボイス・スマイル」を意識しながら話し、聞き手側も積極的に相手と関わるために、あいづちを返したり質問をしたりする。発表し終わったら「ほめほめタイム」を行い、友達から見た自分のよくできているところを知り、よりよい会話をしようという意欲を高めることにつなげる。児童は3色の付箋に自分の名前や好きなマークなどを自由に書き、「アイコンタクト（ピンク）・クリアボイス（黄色）・スマイル（水色）」の3つの視点で相互評価を行い、渡し合う。また自分のめあてへの意識が継続するように指導者は声をかけ支援する。また5年生によくわかってもらうためには、伝え方をどのように工夫すればよいか、自分のスピーチを客観的に見て改善点を見つけさせ、各自がそれを意識したスピーチができるようにしたい。また、帯活動として音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて、例文を参考に4線プリントに英文を書く活動を行う。

終末では、児童は5年生に向けて各自が準備した写真を、タブレット端末を使い見せながら発表会を行う。児童同士やALTからも質問やコメントをもらう場を設定し、より学習の満足感や達成感が高まるように指導していきたい。

6 単元計画（全8時間 本時7／8）

時	○ねらい ・主な学習活動	評価			
		知	思	態	形成的評価、評価方法等
1	○小学校生活の思い出についてのやり取りの概要を捉えることができる。 ・登場人物の会話を聞いて、概要を捉える。 ・場面ごとにアニメ映像を見て、その場面の中心となる表現を使って教師と児童でやり取りをする。	○			本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
2	○小学校生活の思い出についてのやり取りの表現に慣れ、ゴール活動への見通しをもつことができる。 ・アニメ映像を見て、その場面の中心になる表現を使って、教師と児童でやり取りをする。 ・5年生やALT に伝えたい自分の小学校生活の思い出を考え、メモする。	○			本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
3	○小学校生活の一番の思い出について、友達と伝え合うことができる。 ・JTE と ALT のやりとりを見て、表現に慣れる。 ・一番の思い出が同じ友達がいるかたずね合う。	○			本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
4	○小学校生活の一番の思い出について読んだり、例文を参考に書いたりすることができる。 ・登場人物のメモを声に出して読んだり、分かったことを書いたりする。	○			本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
5	○小学校生活の一番の思い出について、表現をふり返ったり情報を整理したりして、やり取りで伝える内容を考えることができる。 ・登場人物の発話の構成を参考にしながら、考えをメモしたり、思い出を書いたりする。	○			本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。
6	○お互いのことをよく知るために、ペアで小学校生活の一番の思い出などを伝え合うことができる。 ・写真を見せながらペアで伝え合い、自分の課題を見つけ、自分のめあてを決める。	○			・ My best memory is We went to It was およびその関連語句などの表現を用いて話している。 【知】（行動観察、録画した動画、ふり返しシート）
7 本 時	○5年生に小学校生活の一番の思い出をよく知ってもらうために、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。 ・自分のめあてを意識してグループで話す。 ・会話で言い慣れた文章をワークシートに書く。（帯）		○		・ 小学校生活の一番の思い出をよく知ってもらうために、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。 【思】（行動観察、ふり返しシート）
8	○5年生に小学校生活の一番の思い出についてよく知ってもらうために、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話すことができる。 ・5年生に向けて、2つのグループに分かれ発表会を行う。		○	○	・ 5年生に小学校生活の一番の思い出をよく知ってもらうために、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。 【思】（行動観察、録画した動画、ふり返しシート） ・ 5年生に小学校生活の一番の思い出をよく知ってもらうために、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や基本的な表現を用いて話そうとしている。 【主】（行動観察、録画した動画、ふり返しシート）

本時の学習

(1) 本時の目標

5年生に小学校生活の一番の思い出について知ってもらうために、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。

(2) 本時の展開

児童の学習活動	・ 教師の支援 ◎評価
1. あいさつをする。 2. めあての確認 ・ 本時のめあてを確認する。	・ 安心して学習に向かえる雰囲気を作る。
5年生に小学校生活の一番の思い出がくわしく伝わるよう、よりよいスピーチにしよう。	
3. 【My Picture Dictionary】 ・ フラッシュカードを見て単語を言う。 4. 【Your Goal】 ・ 教師のデモンストレーションを聞く。 ・ 自分のめあてを確認する。 ・ 個人で自分のせりふを練習する。 ・ 話すときの3つのポイント（アイコンタクト・クリアボイス・スマイル）について確認する。 5. 【発表タイム】 ・ グループで、画像を見せながら1回目を行う。 ・ 中間評価を行う。 ・ 代表の児童が教師とやりとりをする。 ・ メンバーを変えて、2回目を行う。 6. 【ほめほめタイム】 ・ アイコンタクト（ピンク）、クリアボイス（黄色）、スマイル（水色）の3つの視点で相互評価を行うため、3色の付箋を渡し合う。 ・ 代表の児童が学級全体の前で発表する。 ・ 3つのポイント以外でできそうな工夫があれば、発表する。（写真を指差しながら話す、ジェスチャー、声の強弱、話すスピード、間の取り方、自分の気持	・ 自分が話すためだけではなく、相手の話していることもわかるために練習することを伝える。 ・ 内容を簡単に確認する。 ・ 会話を続けるためのあいづち言葉や質問の英語も確認する。 ・ 2～3人のめあての発表により、積極的に学習に向かう雰囲気を作る。 ・ 言いたいことが言えているか、友達が一番の思い出がわかったか、伝えたいけど言えなくて困った表現はないか確認する。 ・ 自分のめあてが意識できているか確認する。 ・ 「感想や様子」なども伝えたり、What did you enjoy?などの質問をし合って他の「したこと」も話せているか確認する。 ・ 自分のよかったところに気づけたか確認する。 ・ ALT がよいところや改善点など助言をする。 ・ ほめほめタイムやALT の助言を生かし、改善できそうなところやもっと工夫できそうなことについて考えるよう助言する。

ちに合ったあいづち言葉の工夫、など) ・メンバーを変えて、3回目を行う。 ・よりよいスピーチができたか、どんなところがよくなったか、どんな工夫ができたか発表する。 ・代表の児童が学級全体の前で発表する。 7. 【振り返り】 ・ Chromebook で振り返りを入力する。 8. 【文を書く】 ・ ワークシートに会話で言い慣れた英文を書く。 9. ALT の助言と次時の活動内容を聞く。 10. あいさつをする。	◎小学校生活の一番の思い出をよく知ってもらうために、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。(行動観察、振り返りシート) ・ どんなところがどのようによくなったかを具体で振り返るよう指示する。 ・ 文を書くときの注意点を確認する。 ・ 今日の活動で気づいたことを生かして、次回に、5年生に向けて発表会を行うことを伝え、発表会までに練習しておくように励ます。
---	---

(3) 本時の評価

十分満足できると判断される児童の姿	おおむね満足できると判断される児童の姿	支援を要すると判断される児童への手立て
・ 小学校生活の一番の思い出について、自分の気持ちや考えをより詳細に整理し、行ったところや見たもの、食べたものなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを含めて話している。	・ 小学校生活の1番の思い出について伝えるために、行ったところや見たもの、食べたものなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを含めて話している。	・ 十分な口頭練習を行い、発話に対する苦手意識を取り除いてから、コミュニケーション活動に取り組めるよう支援する。 ・ 学習した内容を用いて、質問や意見が述べられるように、個別に支援する。
十分満足と判断される児童のスピーチ (例)	おおむね満足と判断される児童のスピーチ (例)	
My best memory is our school trip. We went to <i>Mirokuno-Sato</i> Amusement Park. I enjoyed the roller coaster with my friends. It was exciting and fun. Thank you for listening. 今まで学習した表現を加えたり、話し方の工夫をして相手がわかっているかを確かめながら話している。	My best memory is our school trip. We went to <i>Itsukushima Shrine in Miyajima</i>. It was big and old. Thank you for listening.	